2025 年度

SGT　活動レポート

中 2 ステンドグラス講座
C 班　第 1 回

10 月 22 日(水)に、本年度 C 班の第 1 回ステンドグラス講座を実施しました。中学生 2 年生を対象に、全4回で行われるこの講座ですが、今回はその1回目で、中学2年 2 組、3 組の生徒 23 名が参加しました。

ステンドグラス工房かわもと様の3名の先生方にご指導をいただき、今年度はキャンドルボックスの作製に挑戦しています。今回はボックスの前面を彩る「オーナメント」作りが今回のメインになります。オーナメントのデザインは、富士山、葉っぱ、猫、シェル、花、クリスタルから選択することができます。初めに、見本を見ながら型紙を選ぶ工程です。直線的なデザイン、曲線が多いデザインで何度が異なるのですが、まずは作りたいデザインを直感的に自分が気に入ったデザインを選びます。

次に、デザインに合わせて、オーナメントにはめ込むガラスを選びます。透明系、暖色系、寒色系に大別された様々なガラスの中から、自由に選ぶことができます。ステンドグラスに使われるガラスは、アメリカ、イギリス、ドイツ、ポーランドなどの国からの輸入品で、着色には金や銀などの貴金属が使われたりするため、近頃は価格が大変高騰している、大変貴重な材料であることなどを説明していただきました。試行錯誤しながら、ガラスを自分のイメージで選びました。

次に、オーナメントの型紙に合わせて、大まかなカットをする作業です。ガラスを切る「オイルカッター」という所謂「ガラス切り」をの使い方の指導を受けます。生徒たちは、オイルカッターでガラスに傷を入れ、その傷に沿って両手で捻るとガラスが容易に割れるのを見て驚いていました。

いよいよ自分でガラスをカットする工程です。ガラスの性質上、直線は比較的容易に切ることができるのですが、曲線は技術が必要になります。講師の先生方にていねいに指導していただきながら、中にはガラスで手を傷つけてしまう生徒もいましたが、何とかパーツを切ることができました。

中には、とても手際よく作業を進める生徒がいたため、話を聞くと、入学以前の体験入学で作製し興味を持って、昨年度は自主的に SGT のステンドグラスに参加したので、今回で 3 回目だということでした。次の段階は、今回切り分けたガラスを、「ルーター」と呼ばれる専用の機械で削っていく作業になります。今回早く進みこの工程に進んでいる生徒もいました。

今回はまだ各パーツの大まかな形を切り取っただけですが、次回はガラスを削ってきれいなパーツに仕上げていきます。どんな作品になっていくのか楽しみです。次回は 10 月 29 日(水)です。

はじめに、どのオーナメントを作るのかを決めて、型紙を受け取ります。

2 枚の型紙の 1 枚は台紙にして、もう一枚を線に沿って丁寧に切り取ります。

切り取った型紙を手に、イメージにあうガラスを試行錯誤しながら選んでいきます。

オイルカッターの使い方を指導していただきます。カッターで入れた細い傷に沿って、ガラスが簡単に割れるのは驚きです。

切った型紙に沿って、ガラスにサインペンで形を描きます。ガラスの色や方向、切り口などをうまく合わせられるかもポイントです。

ガラスにペンで描いた線に沿って、オイルカッターで切っていきます。はじめは要領がわからず、恐る恐る作業していました。

だんだんとコツがわかってきて、作業が早くなっていきます。

早く終わった生徒は、ルーターを使って、きれいに整えていきます。続きはまた来週！